

# 7月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
もも		6,750	前年並み	6,025	489	109	499	5	0	山梨産中心の入荷で、全体の約8割を占める。山梨は結実状況は良好。好天で生育は前年よりも1旬ほど前進している。6月下旬には「日川白鳳」、7月からは「白鳳」が出回る見通し。福島も生育がすすんでおり、7月末には「あかつき」がピークとの見込み。品質も良好で総入荷量は前年並み、だが、価格はやや前年を上回る見込み。
おうとう		538	前年並み	776	1,376	110	1,310	436	81	山形産中心の入荷。好天で生育が大幅に前進傾向となっている。6月半ばには「佐藤錦」がピークとなり、秋田も始まった。6月末からは、前年より若干早く北海道の入荷も始まる見込み。シーズンの総入荷量は前年並みからやや増の見込みだが、ピークは6月となるため、7月の入荷量は前年並みの見込み。価格は前年を上回る見込み。
ぶどう類		1,337	前年並み	1,272	961	100	1,025	607	45	「デラウエア」は6月中旬に品薄状態となったが、6月下旬は山形産が出始め落ち着く見通し。しかし、引き合いは依然強いと見込まれる。「大粒系」は山梨・長野のハウス中心。中元・旧盆重要でテンポの良い販売が期待できる。「シャインマスカット」は前年を上回る入荷見込みだが、まだ引き合いは堅調。「巨峰」は有核→無核の切り替えて入荷量が少ない見込み。全体の価格は前年並み。
メロン類		4,639	やや増	4,631	353	103	361	1,571	34	関東産は遅れていたが、6月の寒暖差が激しく、7月の初めには例年と同じタイミングで切りあがる見通し。東北産も前進しているが面積の減少もあり、過剰感はない。新盆や贈答需要も活発で、産地での引き合いも強くなり、原価は高めと予想され、東京市場は価格を下げられない展開。入荷量は前年をやや上回るが、価格は前年を上回る見込み。
すいか類		14,695	前年並み～やや増	14,169	140	102	169	3,400	23	大玉すいかは、千葉は6月中旬、鳥取は6月下旬にピークを迎え、7月上旬でほぼ切りあがる見込み。中旬以降は長野・山形中心の入荷。各地とも天候は良く、食味・玉の肥大も良い。総入荷量は前年並みからやや増が見込まれ、品質良ければ価格は前年をやや上回る見込み。